

今川こども自然クラブ

活動発表

今川子ども自然クラブ

クラブ員：31名

発足：平成20年4月

◇月一回の活動 「里山はおもしろい」

◇ホタルの保護活動 「ホタルが復活」
(ゲンジボタル・ヘイケボタル)

◇生き物調査・水質調査・ゴミ拾い・
森遊び・米作り など

◇私たちの活動が、「持続可能な開発目標
〈SDGs (エスディージーズ)〉」に
つながっている。

楽しい森遊び



棚田とシーソー遊び



アスレチック



丸太ふわふわ



空中スライダー

＜ 1 ＞ ホタルを守る活動



おちばの里親水公園のゲンジボタル



カワニナがたくさん

ホタル観察会



2回の観察会で参加者数 約500人



ゲンジボタル





ゲンジボタルのよう虫

〈2〉 水質・生物調査活動

生物調査



水質調査





ナガレホトケドジョウ



カワムツ



シュレーゲルアオガエル



サワガニ

「里山の保護保全」



ササユリ



さなぎ



エビネ



アサギマダラ



幼虫



シュンラン

〈3〉きれいな川を守るための活動



森を流れる川の水で米づくり

棚田での「米づくり」



田植え 5月6日



稲刈り 9月22日



脱穀 10月28日



新米を味わう会 11月17日

「今川こども自然クラブ①」

自然とのふれあいを楽しむクラブの活動 平成30年5月6日



【参加した市内の小学生による田植え】



【棚田の田植えをする子どもたち】



【夢中になって田植えをする子どもたち】



【全て手植えで行った子どもたち】



【森の自然を生かした道具で、夢中になって遊ぶ子どもたち】



第1回は、オリエンテーションと、田植え、森遊び、森の学習を行った。きれいな水の流れる不動谷の森で、里山での自然の恵みを実感しながら、その大切さを学んだ。

第1回は、オリエンテーションと、田植え、森遊び、森の学習を行った。きれいな水の流れる不動谷の森で、里山での自然の恵みを実感しながら、その大切さを学んだ。

◆【SDGs(エスディージーズ)】

1(貧困)・2(きが)・3(保健)・
6(水・衛生)・7(エネルギー)・
12(生産・消費)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

先人がつくりあげてきた里山の生活では、みんなが協力し合う持続可能な生活が行われてきた。
とても大事なこと！

田植え（みんなで協力）

森遊び（森からのプレゼント）

「今川こども自然クラブ②」

生物調査・自然素材を生かした遊び等

平成30年6月3日



【稲の生育調査と生き物調査をする子どもたち】



【畑で育てたスイカを食べる子どもたち】



【手作り道具で遊ぶ子どもたち】



【今川の生き物調査をする子どもたち】



【今川の生物調査と水質調査をする子どもたち】



【活動のまとめをする子どもたち】

稲の生育調査や今川と棚田の生物調査を行って、貴重な生物がたくさん生息することを確認した。また、それぞれの場所に生息する生き物の違いを比べながら生態系について学んだ。

稲の生育調査や今川と棚田の生物調査を行って、貴重な生物がたくさん生息することを確認した。また、それぞれの場所に生息する生き物の違いを比べながら生態系について学んだ。

◆【SDGs（エスディージーズ）】
2(きが)・3(保健)・
6(水・衛生)・7(エネルギー)・
12(生産・消費)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

いねの調査

「おやつ」は、いつも「自然の恵み」

生き物調査と水質調査

◇今川はいつもきれいです。

「今川こども自然クラブ(特別活動①)」

ホタルの保護活動(ホタル観察会)

平成30年6月9日



【観察会に集まった子どもたち】



【ホタル観察をする参加者】



【子どもたちに安全なホタル観察会】



【ホタルに興味をもつ子ども】



【静岡県の昆虫展も実施した観察会】



【静岡県に生息する昆虫に興味をもつ子どもたち】

ホタルの保護活動のために、ごみ拾いをしたり草取りをしたりしてきた1年間の活動によって、たくさんのゲンジボタル、ヘイケボタルを見ることができた。

ホタルの保護活動のために、ごみ拾いをしたり草取りをしたりしてきた1年間の活動によって、たくさんのゲンジボタル、ヘイケボタルを見ることができた。

◆【SDGs (エスディージーズ)】
6(水・衛生)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

ゲンジボタルとヘイケボタルが見
られる豊かな自然

ホタルをさわれる楽しいところ

静岡県の「こん虫」の展示

「今川こども自然クラブ③」

公園整備、アイガモ農法、生物調査 等

平成30年7月14日



【公園の清掃活動をする子どもたち】



【アジサイの花摘みをする子どもたち】



【棚田で田の草取りや稲の生育に良いなどのことからアイガモ農法に取り組む子どもたち】



【今川の生き物調査する子どもたち】



【今川の水質調査をする子どもたち】

活動の場となっている公園をいつもきれいにしておこうと、ごみ拾いや樹木の手入れをした。さらに、アイガモ農法や、定期的に生き物や水質調査をして保護活動に取り組んだ。

活動の場となっている公園をいつもきれいにしておこうと、ごみ拾いや樹木の手入れをした。さらに、アイガモ農法や、定期的に生き物や水質調査をして保護活動に取り組んだ。

◆【SDGs（エスディーズ）】

1(貧困)・2(きが)・3(保健)・
6(水・衛生)・7(エネルギー)・
12(生産・消費)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

ごみひろいと、花つみ作業

アイガモ農法（除草と実る米）

生き物調査と水質調査

「今川こども自然クラブ(特別活動②)」

放置竹林を有効利用した竹炭作り 平成30年7月14日・15日



【自分たちで割った竹を窯入れする子どもたち】【ドラム窯に隙間なく詰め込む子どもたち】



【1日目午前9時 窯に火を入れる子どもたち】【2日目午後3時 竹炭ができあがった様子】



【炭になることによって量は減ったが、竹炭ができたと喜ぶ子どもたち】

放置された竹を有効利用するために、竹割りから竹炭ができあがりまでに取り組んだ子どもたちは、竹炭を燃料や浄化剤に利用したり、副産物の竹酢液を野菜作りに利用したりした。

放置された竹を有効利用するために、竹割りから竹炭ができあがりまでに取り組んだ子どもたちは、竹炭を燃料や浄化剤に利用したり、副産物の竹酢液を野菜作りに利用したりした。

◆【SDGs（エスディージーズ）】

- 1(貧困)・2(きが)・3(保健)・
- 6(水・衛生)・7(エネルギー)・
- 12(生産・消費)・13(気候変動)・
- 15(陸上資源)

竹炭づくり（放置林の竹を利用

※竹きりと竹わりは学校で。

◇できた竹炭は、水質浄化に使用。

「今川こども自然クラブ④」

上流部の生物調査、清掃活動

平成30年8月19日



【毎月清掃活動をする子どもたち】



【環境保全のために活動する子どもたち】



【川遊びをしながら、上流部の生物調査をする子どもたち】



【生物調査をする子どもたち】



【活動のまとめをする子どもたち】

自然保護活動の一環として川や公園のごみ拾いをして、いつもきれいな環境づくりに協力した。猛暑の中、安全に気をつけながら、上流部で川遊びや生物調査して、水温の低さを感じながら活動した。活動後は、活動を振り返った。

自然保護活動の一環として川や公園のごみ拾いをして、きれいな環境づくりに協力した。猛暑の中、安全に気をつけながら、上流部で川遊びや生物調査して、水温の低さを感じながら活動した。活動後は、活動を振り返った。

◆【SDGs（エスディージーズ）】
2(きが)・3(保健)・
6(水・衛生)・7(エネルギー)・
12(生産・消費)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

毎回行う「ごみひろい」

生き物調査

「今川こども自然クラブ⑤」

クラフトと味噌汁作り、棚田の稲刈り等 平成30年9月22日



【自然素材を利用して、バランスを考えながらヤジロベエを作る子どもたち】



【廃材を利用して味噌汁を作る子どもたち】



【稲刈りをする子どもたち】



【鎌を上手に使いながら、あっという間に稲を刈り取ってしまった子どもたち】



クラフトをやった後に、5月に苗植えをしてから大切に育ててきた稲を刈り取った。泥だらけになってあっという間に刈り取った稲を干し終え、森遊びを楽しんだ。

クラフトをやった後に、5月に苗植えをしてから大切に育ててきた稲を刈り取った。泥だらけになってあっという間に刈り取った稲を干し終え、森遊びを楽しんだ。

◆【SDGs（エスディーズ）】

1(貧困)・2(きが)・3(保健)・
6(水・衛生)・7(エネルギー)・
12(生産・消費)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

自然素材を使ったヤジロベエ 作り

まきを燃料に「みそ汁作り」

かまを使って、いねかり作業

「今川こども自然クラブ⑥」

稲の脱穀とシイの実クッキー作り等

平成30年10月28日



【干した稲を脱穀する子どもたち】【脱穀して籾(もみ)が出てくる様子を見る子どもたち】



【産地である大知波(浜名湖)で育てているミカンを収穫して、おやつにする子どもたち】



【シイの実クッキー作りを楽しむ子どもたち】



【自然の恵みをいただく子どもたち】

里山では、自然の恵みによって米やミカンができることを、体験を通して学ぶことができた。毎年繰り返される里山の営みは、自然の恵みによって持続していることを学んだ。

里山では、自然の恵みによって米やミカンができることを、体験を通して学ぶことができた。毎年繰り返される里山の営みは、自然の恵みによって持続していることを学んだ。

◆【SDGs (エスディーゼズ)】

1(貧困)・2(きが)・3(保健)・
6(水・衛生)・7(エネルギー)・
12(生産・消費)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

脱穀（だっこく）の体験

地元農産物「みかんの栽培」

楽しいシイの実クッキー作り



「今川こども自然クラブ⑦」

自然保護活動、自然の恵みをいただく

平成30年11月17日



【清掃活動をする子どもたち】 【自分たちで育てているミカンを収穫する子どもたち】



【森遊びを楽しむ子どもたち】



【米作りで収穫した新米を炊く子どもたち】



【自分たちで作った新米を、自分でおにぎりにして食べる子どもたち】

新米を自分たちで水洗いし、水の量や火加減に気をつけながら釜でごはんを上手に炊いた。たい肥作りから1年掛けてようやく食べられた子どもたちは、自然の恵みに感謝した。

新米を自分たちで水洗いし、水の量や火加減に気をつけながら釜でごはんを上手に炊いた。たい肥作りから1年掛けてようやく食べられた子どもたちは、自然の恵みに感謝した。

◆【SDGs（エスディージーズ）】

1(貧困)・2(きが)・3(保健)・
6(水・衛生)・7(エネルギー)・
12(生産・消費)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

自分たちで育てた「みかん」
を収穫し、食べた。

シュレーゲルアオガエルやトノサマガエルなどがすむ棚田で、山のきれいな水とかれ葉のたい肥で育てた米を、かまでたいて食べた。自分でおにぎりにして食べると、とってもおいしかった。

「今川こども自然クラブ⑧」

自然を守る活動、自然を感じ楽しむ活動 平成30年12月9日



【毎月清掃活動をする子どもたち】



【シイタケを収穫する子どもたち】



【子どもたちが作ったほだ木から収穫した大量のシイタケに満足な子どもたち】



【10月に脱穀した餅米で、自分たちで餅をついて美味しくいただいた子どもたち】

里山の営みを体験した子どもたちは、米やミカン、シイタケなど、多くの自然の恵みをいただくことができた。自然と共存することによって、持続している営みを実感し、感謝した。

里山の営みを体験した子どもたちは、米やミカン、シイタケなど、多くの自然の恵みをいただくことができた。自然と共存することによって、持続している営みを実感し、感謝した。

◆【SDGs（エスディーゼズ）】

1(貧困)・2(きが)・3(保健)・
6(水・衛生)・7(エネルギー)・10(不平等)
12(生産・消費)・13(気候変動)・
15(陸上資源)

コナラを利用してシイタケのほだ木をつくった。2年たつとシイタケが出てくるので、みんなで収かくした。コナラは切っても、再生するので、すごいなと思った。

棚田でもち米を育て、みんなでもちつきをした。もちつきはうまくいかなかったけど、みんなでちぎったりまるめたりして、楽しかった。

「今川こども自然クラブ⑨」

自然を守る活動、自然を楽しむ活動

平成31年1月19日



【間伐材や除伐材などを利用した手作り遊具で遊ぶ子どもたち】



【枯れ葉を集めて、棚田の肥料を作る子どもたち】



【ゴミ拾い活動】

【除伐材で作った「マイボールペン」・おやつは収穫したサツマイモ】

間伐材を利用した手作り遊具で遊んだり、枯れ葉で肥料作りをしたりして、自然のおもしろさやよさを実感した。その後、除伐材を使ってマイボールペンを作った。小刀の使い方にも慣れ、自然の恵みを利用することや、自然と共生することの大切さを学んだ。



間伐材を利用した手作り遊具で遊んだり、枯れ葉で肥料作りをしたりして、自然のおもしろさやよさを実感した。その後、除伐材を使ってマイボールペンを作った。小刀の使い方にも慣れ、自然の恵みを利用することや、自然と共生することの大切さを学んだ。

◆【SDGs（エスディージーズ）】

2(きが)・3(保健)・

6(水・衛生)・7(エネルギー)・

12(生産・消費)・13(気候変動)・

15(陸上資源)

小刀を使ってマイボールペンを作ったり、間伐材でつくった遊具で森遊びをしたりして、楽しかった。



「今川こども自然クラブ⑩」

自然を守り親しんだ1年間を振り返る。

平成31年2月2日



【早咲きの「大知波桜(1月下旬から2月上旬に開花)」の苗に肥料をやる子どもたち】



【しだれ桜の剪定作業をする子どもたち(切り口は防菌剤を塗布)】



【公園のゴミ拾い活動】



【かまどでおやつを温める子どもたち】

1年間の活動を通して、今川こども自然クラブに参加した子どもたちは、自然とふれあいながら楽しく活動し、その中から自然のおもしろさ、不思議さを学んだ。そして、知らず知らずのうちに自然と共存しながら、自然保護活動の大切さを自覚していった。

1年間の活動を通して、今川こども自然クラブに参加した子どもたちは、自然とふれあいながら楽しく遊び、その中から自然のおもしろさ、不思議さを学んだ。そして、知らず知らずのうちに自然と共存しながら、自然保護活動の大切さを自覚した。

◆【SDGs (エスディーゼイズ)】

2(きが)・3(保健)・

6(水・衛生)・7(エネルギー)・

12(生産・消費)・13(気候変動)・

15(陸上資源)

1月中旬から咲き始める「大知波桜」を増やして、多くの方に見ていただくとうと手入れをした。桜のせん定も経験し、きれいな桜が咲くように楽しく体験することができた。

雨水をタンクにためて利用した。



今川こども自然クラブの活動を通して

- ◎活動を通して、「自然を大切にする意味」を考えた。地球温暖化や自然破かいなどの問題を、活動を通して知ったり体験したりことによって、「自然」は、未来がよりよくあるために大切なものだと分かった。
- ◎地球を救うためには、「持続可能な開発目標〈SDGs（エスディージーズ）〉」に向かって、行動することが大切なことを知った。
- ◎「今川こども自然クラブ」での活動が、その後の自分の進路や生き方を考えるきっかけになった。



ありがとうございました。

